



雇用延長制度に対応した

シニア層のキャリア開発 本質的な課題と対応策

シニア層の行動変容を実現するキャリア開発支援と
効果的な研修・診断プログラム

経営に対する要請

DEMAND FOR MANAGEMENT

人口動態変化のトレンドによって雇用の長期化が進展するのは必然と言える。

しかし雇用延長制度の導入は様々な問題を顕在化させ、企業には人材マネジメント上の難しい舵取りが求められる。

これまで焦点を当ててこられなかったシニア層に対するキャリア開発が重要度の高い課題となる。

人口動態の変化

出生率が低水準で推移することにより

①総人口は継続的に減少

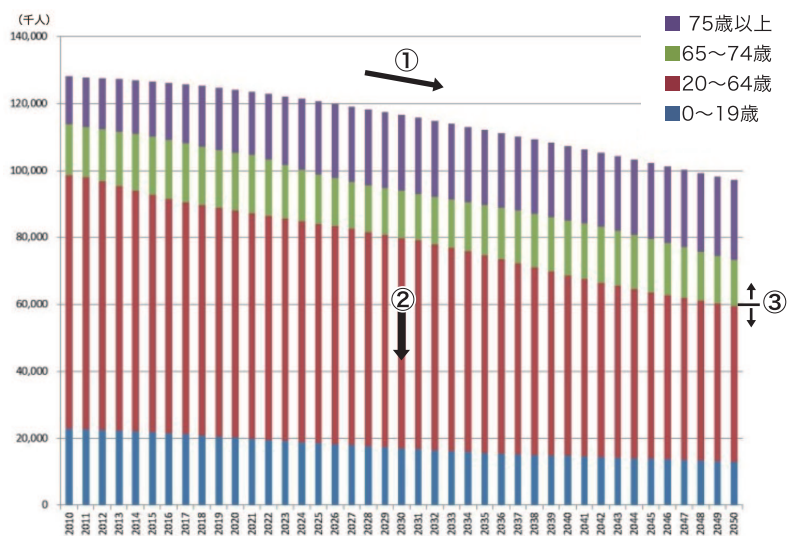
②特に働く年齢層は著しく減少

同時に、平均寿命が延び続けることにより

③高齢者比率は継続的に拡大

右図は日本の将来人口推計

国立社会保障・人口問題研究所
平成24年1月推計（出生・死亡中位）



雇用の長期化を促進する要因

長寿化で、人々は長く健康に働けるようになり、仕事を続けることを希望するシニア層が増加

年金支給年齢の引き上げによって、生計を維持するためには長く働かざるを得ないのが現実

労働力の長期的な減少を踏まえれば、シニア層の戦力化は企業にとっての重要な選択肢

経営にとっての課題

60歳定年制の前提自体の変化への対応

長期雇用に対する企業の社会的責任の高まりへの対応

シニア層の能力開発策の具体化

雇用の長期化を制約する要因

国内需要が減少する中で、企業のコスト削減の必要性はさらに増大

役職ポストがさらに減少する中で、組織を活性化するために新陳代謝の必要性が一層向上

組織の逆ピラミッド化によって、後進層への指導等、職場でのシニア層の役割が相対的に縮小

経営にとっての課題

コスト効率向上と雇用延長の両立

プレーヤーとしてのシニア層の役割の確立

グループ内外を含めた人材流動化策の多様化

セミナーのご案内

ABOUT SEMINAR

秋葉原UDXにて開催される「「変革のエージェントになる」HRサミット2012東京」にてセミナーを行います。
本セミナーでは、シニア層の活躍を支援するために不可欠となる「キャリア開発支援」の強化方法について解説します。



本セミナーで答える疑問点

1 考え方

これまでの60歳定年時代とこれからとは、シニア層のライフキャリアに対する考え方はどのように変わるのか？

2 動機付け

シニア層を何によって動機付ければよいのか？
モチベーションを高めることははたして可能なのか？

3 働き方

シニア層にどのような役割を担ってもらえばよいのか？
本人は何を変える必要があるか？

4 第三者の役割

雇用延長はシニア層本人だけの問題なのか？
人事部門、およびそれぞれの職場で何が必要になるか？

5 施策の具体化

具体的にどのような施策が必要とされるか？従来型の施策（ライフプランセミナーなど）の問題は何か？



セミナー概要

雇用延長制度に対応したシニア層のキャリア開発、本質的な課題と対応策

— シニア層の行動変容を実現するキャリア開発支援と効果的な研修・診断プログラム —

会期

☐ 1回目／6月12日(火) 16:10～17:10

☐ 2回目／6月13日(水) 12:10～13:10

内容

- ①雇用延長制度の導入に伴って解決すべき課題は何か
- ②高齢化時代におけるシニア層のキャリア開発の基本的な考え方とは
- ③企業が備えるべきキャリア開発支援機能とは
- ④シニア層とマネジャー層に提供すべき研修プログラムとは
- ⑤シニア層のキャリア開発において必要となる思考・行動特性診断（コンピテンシー診断）とその活用方法

講師

エム・アイ・アソシエイツ株式会社 代表取締役社長 松丘啓司

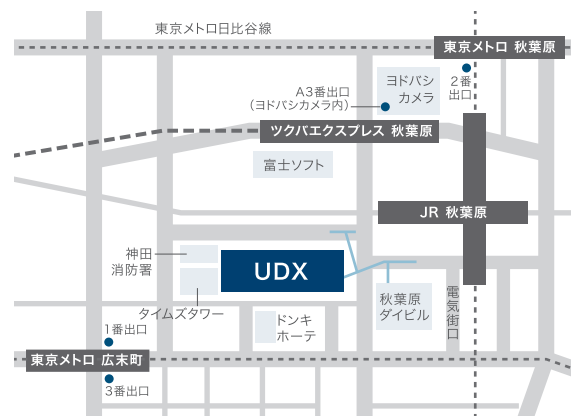
申し込み方法

事前予約が必要です。（詳細は下記ホームページをご覧ください）

<http://www.hrpro.co.jp/>

「変革のエージェントになる」HRサミット2012東京

アクセス



ユーディーエックス カンファレンス

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-4-1

TEL.03-3254-8421 FAX.03-3254-8422

URL.<http://udx.jp/conference>

会社概要

COMPANY PROFILE

名称	エム・アイ・アソシエイツ株式会社 (MI Associates Corporation)
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂4-9-17 赤坂第一ビル10階
電話	03-5772-5100(代表)
FAX	03-5772-5101
設立	2005年7月
代表取締役	松丘 啓司 〈 略歴 〉 東京大学法学部を卒業。アクセンチュアのヒューマンパフォーマンスサービスライン統括パートナーを経て、エム・アイ・アソシエイツ株式会社を設立し、現在に至る。 人と組織の内発的改革をテーマとした独自のプログラム開発に取り組んでいる。 主な著書として「アイデアが湧きだすコミュニケーション」「論理思考は万能ではない」「組織営業力」などがある。
主な事業内容	研修、診断、コンサルティングサービスを通じた、人と組織の内発的変革の支援 〈 主な実績 〉 シニア層向けキャリア開発のみで年間1000名以上に研修実施。 総合商社、輸送機器メーカー、情報通信事業者、金融業者、地方自治体など、 さまざまな業界での経験多数(事例はホームページをご覧ください)
URL	http://www.mia.co.jp
お問い合わせ	info@mia.co.jp